

平成30年度

# 入学者選抜要項



名古屋大学



# 目 次

	頁
I 募 集 人 員 .....	2
II 本学学部間の併願（一般入試） .....	3
III 出 願 資 格（一般入試） .....	3
IV 選 抜 方 法 等 .....	4
1. 一般入試 .....	4
2. その他の入試 .....	5
3. 出願に当たっての留意事項 .....	5
4. 入学者選抜方法等（一般入試） .....	6
5. 入学者選抜の実施教科・科目等 .....	8
6. 入学者選抜方法等（その他の入試） .....	14
7. 大学入試センター試験を課す推薦入試 .....	15
8. 大学入試センター試験を課さない推薦入試 .....	24
9. 私費外国人留学生入試 .....	25
10. 国際プログラム群学部学生入試（10月入学） .....	28
V 募集要項、大学案内及び学部紹介冊子の請求 .....	29
VI 名古屋大学の概要 .....	31
VII 平成31年度以降の入学者選抜方法について .....	36
照会先一覧 .....	巻末

## I 募 集 人 員

学 部 ・ 学 科 等		一 般 入 試		そ の 他 の 入 試		合 計	
		前期日程	後期日程	推 薦 入 試			
				センター試験 を課す入試	センター試験 を課さない入試		
文 学 部		110			15	125	
教 育 学 部		55		10		65	
法 学 部		105		45		150	
経 済 学 部		165		40		205	
情 報 学 部	自 然 情 報 学 科	30		8		38	
	人 間 ・ 社 会 情 報 学 科	30		8		38	
	コ ン ピ ュ ー タ 科 学 科	53		6		59	
	小 計	113		22		135	
理 学 部		220		50		270	
医 学 部	医 学 科	90	2※	12		104	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	45		35		80
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	30		10		40
		検 査 技 術 科 学 専 攻	25		15		40
		理 学 療 法 学 専 攻	13		7		20
		作 業 療 法 学 専 攻	13		7		20
		計	126		74		200
	小 計	216	2※	86		304	
工 学 部	化 学 生 命 工 学 科	90		9		99	
	物 理 工 学 科	75		8		83	
	マ テ リ ア ル 工 学 科	99		11		110	
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	107		11		118	
	機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	135		15		150	
	エ ネ ル ギ ー 理 工 学 科	36		4		40	
	環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	72		8		80	
	小 計	614		66		680	
農 学 部	生 物 環 境 科 学 科	27		8		35	
	資 源 生 物 科 学 科	43		12		55	
	応 用 生 命 科 学 科	66		14		80	
	小 計	136		34		170	
合 計		1,734	2※	353	15	2,104	

【注】1. 「推薦入試」において、合格者又は入学手続者が募集人員に達しない場合には、その欠員分は、「一般入試」の募集人員に加えます。

【注】2. 「一般入試」の募集人員には、「私費外国人留学生入試」及び「国際プログラム群入試」の募集人員（若干名）を含みます。

※後期日程（医学部医学科）の募集人員は、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。募集人員については、確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

## Ⅱ 本学学部間の併願（一般入試）

本学では、「前期日程」で試験を実施する全学部と「後期日程」で試験を実施する医学部医学科との併願を認めます。

## Ⅲ 出願資格（一般入試）

本学の一般入試に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者で平成30年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目（「Ⅳの5. 入学者選抜の実施教科・科目等」8～13頁参照）を受験した者として。なお、その他の入試については該当の頁を参照してください。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりです。

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

**【注】** 上記出願資格③のカにより出願する者は、個別の入学資格審査が必要となりますので下記の期限までに申請してください。

なお、審査対象、申請手続等の詳細については、本学のホームページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/>）→入学案内→学部入試の概要→入学資格個別審査のご案内→審査内容（一般入試）で確認してください。

- ・大学入試センター試験出願時に、本学を志望する者  
平成29年8月31日（木）[必着]
- ・大学入試センター試験出願の際、他大学の入学資格認定を受けた者で、その後本学に志望変更する者  
平成30年1月22日（月）～1月25日（木）[必着]

### 後期日程（医学部医学科）への出願について

後期日程（医学部医学科）に出願することができる者は、上記の出願資格を有し、かつ、以下の要件のいずれかを満たす者として。

1. 入学志願者の出身高等学校又は中等教育学校が愛知県内であること
2. 入学志願者の保護者の現住所が出願時に愛知県内であること

## Ⅳ 選 抜 方 法 等

本学の入学者の選抜は次のとおり実施します。

### 1. 一般入試

#### [前期日程]

選抜方法：大学入試センター試験、個別学力検査、調査書及び面接（医学部医学科のみ）により総合的に行います。（6頁参照）

実施学部：全学部（文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部）

#### [後期日程]

選抜方法：大学入試センター試験、志願理由書、調査書及び面接により総合的に行います。

実施学部・学科：医学部医学科

※この選抜は、愛知県内の地域医療を担う人材の育成を目指すものです。（7頁参照）

### (1) 個別学力検査の日程等

#### ① 実施期日

##### [前期日程]

平成30年 2月25日（日）	全 学 部
2月26日（月）	
2月27日（火）	医学部医学科

##### [後期日程]

平成30年 3月12日（月）	医学部医学科
----------------	--------

#### ② 実施教科・科目

個別学力検査の実施教科・科目及び大学入試センター試験・個別学力検査の配点は、8～13頁の「5. 入学選抜の実施教科・科目等」のとおりです。

### (2) 高得点者選抜

#### [前期日程]

#### ① 工 学 部

工学部の合格者の決定に当たっては、大学入試センター試験及び個別学力検査の高得点者を次のとおり取り扱います。

##### i. 大学入試センター試験の高得点者選抜

各学科の前期日程募集人員の10%を限度として、個別学力検査の成績が定められた基準を上回る者について、第1志望学科<sup>[注]</sup>に限り、大学入試センター試験の成績によって選抜を行います。

##### ii. 個別学力検査の高得点者選抜

各学科の前期日程募集人員の10%を限度として、第1志望学科<sup>[注]</sup>に限り、大学入試センター試験の成績にかかわらず、個別学力検査の成績によって選抜を行います。

#### ② 農 学 部

農学部の合格者の決定に当たっては、個別学力検査の高得点者について第1志望学科<sup>[注]</sup>に限り、各学科の前期日程募集人員の20%を限度として、大学入試センター試験の成績にかかわらず、個別学力検査の成績によって選抜を行います。

**[注]** 工学部及び農学部では、第2志望学科までの志願を認めます。

### (3) 2段階選抜

#### 〔前期日程〕

医学部医学科のみ2段階選抜を実施します。募集人員（90名）の約3.5倍までの者を、大学入試センター試験の成績に基づいて第1段階選抜の合格者とします。

その他の学部・学科では2段階選抜は実施しません。

#### 〔後期日程〕

医学部医学科の試験実施に当たっては、大学入試センター試験の成績が900点満点中720点以上の者で、募集人員（2名※）の約8倍までの者を、大学入試センター試験の成績に基づいて第1段階選抜の合格者とします。

※後期日程（医学部医学科）の募集人員は、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。募集人員については、確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

## 2. その他の入試

### 〔大学入試センター試験を課す推薦入試〕

選抜方法：個別学力検査を免除し、大学入試センター試験、学校長等の推薦書、志願理由書、調査書、面接及び各学部が指定する事項に関する書類により総合的に行います。（14～23頁参照）

実施学部：教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部

### 〔大学入試センター試験を課さない推薦入試〕

選抜方法：個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、学校長等の推薦書、志願理由書、調査書、面接、小論文及び学部が指定する事項に関する書類により総合的に行います。（14頁、24頁参照）

実施学部：文学部

※本学を含めた国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部です。

### 〔私費外国人留学生入試〕

日本留学試験、TOEFL及び本学が実施する入学試験（学部・学科ごとに異なる）並びに出願書類により総合的に行います。（25～28頁参照）

### 〔国際プログラム群学部学生入試（10月入学）〕

学力や学力以外の様々な項目に基づき、総合的に行います。（28頁参照）

## 3. 出願に当たっての留意事項

### (1) 調査書（高等学校等の進路指導ご担当の方々へ）

本学では、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊸と標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。

### (2) 第2志望学科（専攻）への志願

#### 〔前期日程〕

工学部及び農学部では、第2志望学科までの志願を認めます。

医学部保健学科では、第2志望専攻までの志願を認めます。ただし、保健学科の各専攻は、それぞれ教育内容に特徴があることを十分考慮してください。選抜に当たっては、各専攻の募集人員の8割程度については、第1志望の志願者を対象に行います。その上で、2割程度については、第1志望及び第2志望の志願者を対象に行います。

### (3) 障がいのある者等の出願

障がいのある者等で、受験上の配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ出願予定の入試種別、志望学部・学科（専攻）、障がい等の状況、受験上の配慮を希望する事項等に志願者本人の連絡先を記載したもの（様式は自由、用紙はA4サイズ）に、①障がい等に関する医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）、②出身学校関係者の添書（学校における修学状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので、様式は自由、用紙はA4サイズ）の2点の書類を添付し、下表により相談してください。

なお、大学入試センター試験の受験に際して受験上の配慮を受ける者は、大学入試センターから交付される決定通知書の写しを併せて添付してください。

また、入学後の修学に関して相談の希望がある者は、お問い合わせください。

入 試 種 別	照 会 期 限	照 会 先
一般入試（前期日程、後期日程） センター試験を課す推薦入試（教育、法、経済、情報、理、医、工、農学部）	平成29年12月27日（水）まで 【注】	巻末照会先一覧参照
センター試験を課さない推薦入試（文学部）	平成29年9月29日（金）まで	
私費外国人留学生入試	平成29年12月1日（金）まで	

【注】視覚・聴覚障がい、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しい者で、大学入試センター試験において点字解答及び代筆解答を希望する者のうち、本学へ出願する者については、平成29年9月末日までに上記と同様の書類を提出し、相談してください。

## 4. 入学者選抜方法等（一般入試）

### 〔前期日程〕

選抜方法等 学部・学科名	個 別 学 力 検 査 等								個別学力検査等の日程	備 考 〔欠員の 補充の 方法等〕	
	個別学力検査を課す	実 技 検 査 等				2 段 階 選 抜					
		面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数				
							定員に対する倍率	その他			
文 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日	追加合格	
教 育 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
法 学 部	○	×	○	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
経 済 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
情 報 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
理 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
医 学 部	医 学 科	○	○	×	×	×	○	約3.5倍	×		2月25日・26日・27日
	保 健 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×		2月25日・26日
工 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		
農 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日・26日		

【注】各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。

【後期日程】

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等						2段階選抜		個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕
		実技検査等				大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う					
		面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す						
医学部	医学科	×	○	×	×	×	○	約8倍	【注】2	3月12日	追加合格

【注】1. 各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。

【注】2. 大学入試センター試験の成績が900点満点中720点以上の者。

医学部医学科の後期日程について

国の施策に基づき、愛知県内の地域医療を担う人材を育成するため、本学医学部医学科において、後期日程試験により（注1）2名を募集します。

本選抜の出願要件は、（注2）愛知県内出身者で卒業後に愛知県内の地域医療に従事しようとする強い意欲を持つ者とし、これには、愛知県内出身者の高校既卒者等も志願することができます。

本選抜で入学した者は、愛知県から月額15万円程度の奨学金貸与を受けることが必須となります。また、卒業後は、愛知県内の臨床研修指定病院における2年間の研修と、愛知県が指定する（注3）公的医療機関における7年間の勤務とを合わせて9年間の地域医療に従事することを義務としています。これに加え、愛知県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく臨床研修に参加すること、及び愛知県が策定する「キャリア形成プログラム（策定中）」に参加することの義務を果たすことにより奨学金の返還が免除されます。

さらにカリキュラムについては、正規カリキュラムの一部科目の履修指定及び課外学習から構成される「地域医療に関するカリキュラム」の履修を義務付けています。正規カリキュラムにおいては、3年次の基礎医学セミナーや4年次の選択講義等で、地域医療教育学講座が担当する授業の選択が必須となります。また、課外実習として、地域医療セミナー（年6回程度開催）や愛知県主催の研修会への参加も義務付けられています。

なお、「地域医療に関するカリキュラム」は年度ごとに見直されるため、カリキュラム・課外学習等の変更があり得ます。

注1 募集人員は、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。募集人員については、確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

注2 後期日程（医学部医学科）に出願することができる者は、3頁の出願資格を有し、かつ、以下の要件のいずれかを満たす者とし、

1. 入学志願者の出身高等学校又は中等教育学校が愛知県内であること
2. 入学志願者の保護者の現住所が出願時に愛知県内であること

注3 愛知県内の医師の確保が困難な地域に所在する公的医療機関のうち、知事が指定する医療機関で、「地域の中核病院」などを想定しています。

【卒業後の勤務パターン（一例）】

下表により卒業後の勤務パターンの一例を示します。

大学1年生

大学6年生

在学期間 6年間	県内で 臨床研修 (2年間)	知事の承認を受けて 専門医(後期)研修 (3年以内) 〔うち2年間は 義務年限に算入(※)〕	県の指定する 公的医療機関に 勤務① (2年間)	県の指定する 公的医療機関に 勤務② (3年間)	県の指定する 公的医療機関に 勤務③ (2年間)
-------------	----------------------	--	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

※知事が指定する専門医研修の場合は、2年間は義務年限に算入できます。

義務年限に算入されない専門医研修の場合は、公的医療機関での勤務が増えます。(③の勤務あり)

このほかに、専門研修の開始時期は、本人の希望により柔軟に対応できます。例えば、県内で2年間研修し、県の指定する公的医療機関に2年間勤務した後に、3年以内の専門研修を経て、県の指定する公的医療機関に5年間勤務することも可能です。

5. 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名等 及び入学定員等 (平成29年度) (志願倍率)	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
文学部 125人 前期 その他15 (2.5)	前期 2月25日・26日	国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B } から2 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科8科目又は6教科8科目)	国 地歴 数 外	国語総合・現代文B・古典B 世B, 日B, 地理Bから1 数I・数II・数A・数B 英, 独, 仏, 中から1(ただし, 英語につ いては, 「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	実施 しない	センター試験 個別学力検査 計	200 400 600	200 200 400	200 200 400	100 100 100	200 400 600	900 1200 2100	推薦 外国人 追加合格
		国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B } から2 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科8科目又は6教科8科目)	国 地歴 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数I・数II・数A・数B 英, 独, 仏, 中から1(ただし, 英語につ いては, 「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	実施 しない	センター試験 個別学力検査 計	200 600 800	200 600 200	200 600 800	100 100 100	200 600 800	900 1800 2700	推薦 外国人 追加合格
		国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B } から2 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科8科目又は6教科8科目)	数 外 その他	数I・数II・数A・数B 英, 独, 仏, 中から1(ただし, 英語につ いては, 「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。) 小論文(高等学校の地歴, 公民の学習 を前提とする。)	実施 しない	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	200 200 200	200 200 400	100 100 100	200 200 400	900 600 1500	推薦 外国人 追加合格
経済学部 205人 前期 その他40 (2.5)	前期 2月25日・26日	国 地歴 公民	国 世B, 日B, 地理B } から2 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科8科目又は6教科8科目)	国 地歴 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数I・数II・数A・数B 英, 独, 仏, 中から1(ただし, 英語につ いては, 「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	実施 しない	センター試験 個別学力検査 計	200 500 700	200 500 200	200 500 700	100 100 100	200 500 700	900 1500 2400	推薦 外国人 追加合格

学部・学科等 及び入学定員等 (平成29年度) (志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	歴史・ 公民	数学	理科	外国語	小論文
情報学部 135人 前期 113 その他 22 (3.2)	前期 2月 25日 ・26日	国 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から1 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から1 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	センター試験 個別学力検査 計	200 200	100 200	200 400 【注3】	200 300 500	200 400 600	200 400 600	900 1100 2000	推薦 外国人 追加合格
		国 世B、日B、地理B } から2 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地学基から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕	地歴 数I・数II・数III・数A・数B 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	地歴 数I・数II・数III・数A・数B 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	センター試験 個別学力検査 計	200 200	100 200	200 400 【注3】	200 700 900	200 400 600	200 700 900	900 1100 2000	推薦 外国人 追加合格
理学部 270人 前期 220 その他 50 (2.4)	前期 2月 25日 ・26日	国 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 物と 化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から2 (ただし、物基・物を 含むこと。) 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から2 (ただし、物基・物を 含むこと。) 英、独、仏、中から1 (ただし、英語 については、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表現 I」・「英語表現II」の5科目をあわせて 出題。)	センター試験 個別学力検査 計	200 200	100 200	200 500 700	200 500 700	200 300 500	200 300 500	900 1300 2200	推薦 外国人 追加合格
		国 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 (ただし、物、化のいずれかを含むこ と。) 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	国語総合・現代文B (古文・漢文を除 く。) 数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から2 (ただし、物基・物、化 英、独、仏、中から1 (ただし、英語に ついては、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表 現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	国語総合・現代文B (古文・漢文を除 く。) 数I・数II・数III・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生、地学 基・地学から2 (ただし、物基・物、化 英、独、仏、中から1 (ただし、英語に ついては、「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・「コ ミュニケーション英語III」・「英語表 現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	センター試験 個別学力検査 計	200 150 350	100 200	200 500 700	200 500 700	200 300 500	200 300 500	900 1450 2350	推薦 外国人 追加合格

学部・学科等名等 及び入学定員等 (平成29年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	
医学部 304人 前期 216 後期 2** その他 86 (2:9)	前期 2月 25日 ・26日 ・27日	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教I・教Aと 数II・教B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	国語総合・現代文B・古典B 教I・教II・教III・教A・教B 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 英, 独, 仏, 中から1 (ただし, 英語に ついては, 「コミュニケーション英語II」・ I」・「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	国 教 理 外 その他		センター試験 個別学力検査 計	200 150 350	100 100	200 500 700	200 500 700	200 500 700	900 1650 2550	推薦 外国人 追加合格
		後期 3月 12日		英文の課題に基づいた面接(口頭試問)	その他		センター試験 個別学力検査 計	200 200	100 100	200 200	200 200	200 200	900 900
看護学専攻 80人 前期 45 その他 35 放射線技術 科学専攻 40人 前期 30 その他 10 検査技術 科学専攻 40人 前期 25 その他 15 理学療法学 専攻 20人 前期 13 その他 7 作業療法学 専攻 20人 前期 13 その他 7	前期 2月 25日 ・26日	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教I・教Aと 数II・教B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	国語総合・現代文B・古典B 教I・教II・教III・教A・教B 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 英, 独, 仏, 中から1 (ただし, 英語に ついては, 「コミュニケーション英語II」・ I」・「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	数 理 外		センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	100 100 100	200 500 700	200 500 700	200 500 700	900 1500 2400	
		保 健 学 科			実施 しない		センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	100 100 100	200 500 700	200 500 700	200 500 700	900 1500 2400

※後期日程(医学部医学科)については、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。

学部・学科等名等 及び入学定員等 (平成29年度) (志願倍率)	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計
工学部 680人 前期 614 その他 66 (2.8)	前期 2月 25日 ・26日	国	国	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	センター試験	200	100	100	100	100	600	推薦
		地歴 公民	世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経	理 外	物基・物と化基・化 英, 独, 仏, 中から1 (ただし, 英語に ついては, 「コミュニケーション英語 I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語 表現I」・「英語表現II」の5科目をあ わせて出題。)	個別学力検査			500	500	300		1300
物理工学科 83人 前期 75 その他 8		数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	理	物と化	計	200	100	600	600	400	1900	追加合格
		理 外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)										
マテリアル 工学科 110人 前期 99 その他 11		電	電気電子	情	情報工学科								
		機 宇	機械・航空 宇宙工学科										
エネルギー 理工学科 40人 前期 36 その他 4		機	150人 前期 135 その他 15										
		環 建	環境土木・ 建築学科										
80人 前期 72 その他 8		環 建	80人 前期 72 その他 8										

学部・学定員等 (平成29年度 志願倍率)	学力検査等 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史・公民	数学	理科	外国語	小論文	配点 合計	その他の 選抜方法 等
農学部 170人 前期136 その他34 (2.6)	生物環境科 学科 2月25日 ・26日 前期35人 その他27 その他8	国	国、世B、日B、地理B } から1 倫・政経	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2 英、独、仏、中から1(ただし、英語に ついては、「コミュニケーション英語 Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・ 「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語 表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあ わせて出題。)	センター試験	200	100	200	200	200	200	900	推薦
		理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2 英、独、仏、中から1(ただし、英語に ついては、「コミュニケーション英語 Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・ 「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語 表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあ わせて出題。)	個別学力検査			400	600	600	600	400		1400	外国人
		外	英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	外		計	200	100	600	800	600	2300	追加合格	

【注】1. 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄について

- (1) 教科名は次のとおり略記しています。  
国(国語)、地歴(地理歴史)、数(数学)、理(理科)、外(外国語)
- (2) 科目名は次のとおり略記しています。  
国(国語)、世B(世界史B)、日B(日本史B)、倫・政経(倫理、政治・経済)、数Ⅰ・数Ⅱ(数学Ⅰ・数学Ⅱ)、数Ⅲ(数学Ⅲ)、数A(数学A)、数B(数学B)、簿(簿記・会計)、情報(情報関係基礎)、物基(物理基礎)、化基(化学基礎)、生基(生物基礎)、地学基(地学基礎)、物(物理)、化(化学)、生(生物)、英(英語)、独(ドイツ語)、仏(フランス語)、中(中国語)、韓(韓国語)
- (3) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。  
なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。
- (4) 「外国語」の「英語」を選択した場合には、リスニングテストを全学部で課し、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計250点満点を200点満点(工学部は100点満点)に換算します。  
なお、受験上の配慮事項によりリスニングテストを免除された者については、筆記試験の成績を換算せずにそのまま用います。(工学部は100点満点に換算します。)
- (5) 指定した教科・科目数を超えて受験した場合には、第1解答科目の成績を用います。  
なお、第1解答科目が指定した教科・科目でない場合には、出願することができません。
- (6) 理科において、基礎を付した科目のうちから2科目と基礎を付していない科目のうちから1科目を選択した場合には、基礎を付した2科目の成績を用います。  
なお、基礎を付した科目と基礎を付していない科目から1科目を選択した場合は、第1解答科目の成績を用います。  
理科における基礎を付した科目とは物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を示します。  
理科における基礎を付していない科目とは、物理、化学、生物、地学を示します。

【注】2. 【個別学力検査等の教科等及び科目名等】欄について

- (1) 教科名は次のとおり略記しています。  
国(国語)、地歴(地理歴史)、数(数学)、理(理科)、外(外国語)
- (2) 科目名は次のとおり略記しています。  
世B(世界史B)、日B(日本史B)、数I(数学I)、数II(数学II)、数III(数学III)、数A(数学A)、数B(数学B)、物基(物理基礎)、化基(化学基礎)、生基(生物基礎)、地学基(地学基礎)、物(物理)、化(化学)、生(生物)、英(英語)、独(ドイツ語)、仏(フランス語)、中(中国語)
- (3) 「数学」  
・数学I、数学II、数学III、数学Aは全範囲から出題し、数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。  
・数学の試験については、試験室において公式集を配布します。
- (4) 「理科」  
・「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。  
・「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。  
・「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。  
・「地学基礎・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。

【注】3. 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄について  
選択教科を表します。

【注】4. 【2段階選抜】欄について

医学部医学科(前期日程)の2段階選抜については、募集人員(90名)の約3.5倍までの者を、大学入試センター試験の成績に基づいて第1段階選抜の合格者とします。

【注】5. 【2段階選抜】欄について

医学部医学科(後期日程)の2段階選抜については、大学入試センター試験の成績が900点満点中720点以上の者で、募集人員(2名※)の約8倍までの者を、大学入試センター試験の成績に基づいて第1段階選抜の合格者とします。

※後期日程(医学部医学科)の募集人員は、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。募集人員については、確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

6. 入学者選抜方法等（その他の入試）

選抜方法等 学部・学科名		アドミッション・オフィス入試	推 薦 入 試							専門高校・総合学科卒業生入試	帰国子女入試・社会人入試			備 考
			個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等				募 集 人 員		帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人	
					面接を行う	小論文を課す	実技検査を課す	外国語におけるリスニングテストを課す						
文 学 部	×	×	○	○	○	×	×	×	15名	×	×	×	×	
教 育 学 部	×	○	×	○	○	×	×	×	10名	×	×	×	×	
法 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	45名	×	×	×	×	
経 済 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	40名	×	×	×	×	
情 報 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	22名 (18頁参照)	×	×	×	×	
理 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	50名	×	×	×	×	
医 学 部	医 学 科	×	○	×	○	×	×	×	12名	×	×	×	×	
	保 健 学 科	×	○	×	○	×	×	×	74名 (21頁参照)	×	×	×	×	
工 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	66名 (22頁参照)	×	×	×	×	
農 学 部	×	○	×	○	×	×	×	×	34名 (23頁参照)	×	×	×	×	

【注】 各欄のうち○印は該当する場合であり、×印は該当しない場合です。

## 7. 大学入試センター試験を課す推薦入試

実施学部	教育学部
募集人員	10名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、当学部の「アドミッション・ポリシー」にあるように、広い視野と深い洞察力、考察力、論理的思考力、表現力、実践力を有し、人間の成長発達と教育をめぐる課題に深い関心をいだき、教育学と心理学に対する勉学の熱意と意欲を持ち、学業・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受けた者、かつ合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち当学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数に制限はありません。</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの 次の①～⑦に該当するものがある場合は書類を提出してください。</p> <p>① 教育学部のアドミッション・ポリシーに合致する活動、あるいは達成事項等で特筆すべきものについて志願者がまとめた書類</p> <p>② ボランティア活動等社会貢献活動の実績を証明する書類</p> <p>③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において、SGH もしくは SSH に関連した特筆すべき活動や得たことを志願者がまとめた書類</p> <p>④ グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動等について志願者がまとめた書類</p> <p>⑤ 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、英検、IELTS、TestDaf、DALF、HSK 等）</p> <p>⑥ 海外研修又は留学の事実を証明する書類</p> <p>⑦ 国際バカロレアのスコア</p>
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入試センター試験の成績により総合的に判断して行い、第1次選考の合格者（第2次選考の受験有資格者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、小論文及び面接を実施して、合格者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目名</p> <p>国：国 地歴：世B、日B、地理B } から2 公民：倫・政経 数：数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 理：物基、化基、生基、地学基から2 外：英、独、仏、中、韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕 ※12頁【注】1. を参照してください。</p>
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）小論文及び面接
合格者発表日	平成30年2月7日（水）
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国立大学一般入試に出願することができます。 なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。 本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>

実施学部	法 学 部
募集人員	45名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。</p> <p>① 英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL・英検・IELTS等）</p> <p>② 数学オリンピック・科学オリンピック等での実績</p> <p>③ 国際バカロレアのスコア</p> <p>④ スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動</p> <p>⑤ その他、各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等</p>
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意で提出された証明書等並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目名</p> <p>国：国 地歴：世B、日B、地理B } から2 公民：倫・政経 数：数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 理：物基、化基、生基、地学基から2 外：英、独、仏、中、韓から1 〔5教科8科目又は6教科8科目〕 ※12頁【注】1. を参照してください。</p>
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接
合格者発表日	平成30年2年7日（水）
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。 なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。 本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>

実施学部	経済学部
募集人員	40名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、経済学に対する強い勉強意欲を抱いており、かつ以下のような特色すなわち、①個性的、意欲的で指導力がある、②勉学に特に秀でている、③課外活動等で特に成果をあげている、を一つ以上持ち、学業成績・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数は、2名以内とします。</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの 次の①～④に該当する場合は書類を提出してください。</p> <p>① 英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC等）</p> <p>② 国際バカロレアのスコア</p> <p>③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動を証明する書類</p> <p>④ その他各種活動状況、表彰、資格を証明する書類</p>
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意で提出された書類等並びに大学入試センター試験の成績により約60名の第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目名</p> <p>国：国</p> <p>地歴：世B、日B、地理B } から2</p> <p>公民：倫・政経</p> <p>数：数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1</p> <p>理：物基、化基、生基、地学基から2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>〔5教科8科目又は6教科8科目〕</p> <p>※12頁【注】1.を参照してください。</p>
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接
合格者発表日	平成30年2月7日（水）
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。 なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。 本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>

実施学部	情報学部		
募集人員	自然情報学科 8名 人間・社会情報学科 8名 コンピュータ科学科 6名 計 22名		
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに優れ、特に情報を活用して人類の課題へ挑む意欲があり、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数は、学科ごとに1名とします。</p>		
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須）            志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの（第2次選考で参考にさせて頂くことがあります。）            次の①～③に該当するものがある場合は書類を提出してください。</p> <p>① 外国語の能力            英語やその他の外国語の能力を示すスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・独検等）</p> <p>② 国際標準の入学資格            国際バカロレアのスコア</p> <p>③ その他            各種検定の認定証            国際規模、全国規模、地方規模のコンテストにおける入賞を証明する書類            社会的活動での活躍を証明する書類</p>		
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目名</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           (自然情報学科)            国：国            地歴：世B、日B、地理B } から1            公民：倫・政経            数：数Ⅰ・数Aと                  数Ⅱ・数B、簿、情報から1            理：物、化、生、地学から2            外：英、独、仏、中、韓から1            [5教科7科目]         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           (コンピュータ科学科)            国：国            地歴：世B、日B、地理B } から1            公民：倫・政経            数：数Ⅰ・数Aと                  数Ⅱ・数B、簿、情報から1            理：物と                  化、生、地学から1            外：英、独、仏、中、韓から1            [5教科7科目]         </td> </tr> </table> <p>※12頁【注】1. を参照してください。</p> <p>(人間・社会情報学科)            国：国            地歴：世B、日B、地理B } から2            公民：倫・政経            数：数Ⅰ・数Aと                  数Ⅱ・数B、簿、情報から1            理：物基、化基、生基、地学基から2            外：英、独、仏、中、韓から1            [5教科8科目又は6教科8科目]</p>	(自然情報学科) 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 理：物、化、生、地学から2 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	(コンピュータ科学科) 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 理：物と 化、生、地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]
(自然情報学科) 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 理：物、化、生、地学から2 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	(コンピュータ科学科) 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 理：物と 化、生、地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]		
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）		
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接		
合格者発表日	平成30年2月7日（水）		
その他	<p>(1) 一般入試への出願            推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。            なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等            大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。            本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>		

実施学部	理 学 部
募集人員	50名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、当学部の「アドミッション・ポリシー」にあるように、数学や自然科学に強い興味を持ち、基礎となる高等学校の数学や理科の授業内容を十分に理解し、自然界を貫く真理の探究に挑むチャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれ、豊かな創造力を持つことを要件に、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者  (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者  (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>【注】名古屋大学理学部の「アドミッション・ポリシー」は  <a href="http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/student/education.html">http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/student/education.html</a> を参照してください。</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須）  志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの  次の①～③に該当するものがある場合は書類を提出してください。</p> <p>① 英語力を示す各種試験（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC等）の成績を証明する書類  ② 国際バカロレア等のスコアを証明する書類  ③ 高等学校等で行った課外活動等の実績（スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動状況、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動状況、数学オリンピック・物理オリンピック・化学オリンピック・生物学オリンピック・地学オリンピックへの参加状況、全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況等）を証明する書類</p>
選抜方法等	<p>選抜は、次により行います。</p> <p>(1) 書類選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入試センター試験の成績により総合的に選考し、約25名の合格者（面接選考を免除された合格者）を決定します。また、書類選考の結果、合格者とならなかった者のうちから面接選考の受験有資格者を決定します。</p> <p>(2) 面接選考では上記(1)の書類選考で面接選考の受験有資格者となった者に対し口頭試問による面接を実施し、面接及び提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により総合的に選考して、約25名の合格者を決定します。</p> <p>大学入試センター試験の利用教科・科目名</p> <p>国：国  地歴：世B、日B、地理B } から1  公民：倫・政経  数：数Ⅰ・数Aと  数Ⅱ・数B、簿、情報から1  理：物、化、生、地学から2（ただし、物、化のいずれかを含むこと。）  外：英、独、仏、中、韓から1  〔5教科7科目〕  ※12頁【注】1. を参照してください。</p>
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接（面接選考の受験有資格者のみ）
合格者発表日	平成30年2月2日（金）（書類選考） 平成30年2月7日（水）（面接選考）
その他	<p>(1) 一般入試への出願  推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等  大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>

実施学部	医学部 医学科
募集人員	12名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、特に医学研究者への志向性を持ち、例えば本学の MD・PhD コース【注】への進学を希望するような人材であり、調査書の学習成績概評が A に属し、学習成績・人物ともに特に優秀で、学校長等から④として責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数は1名とします。</p> <p>【注】「MD・PhD コース」の詳細については、本学医学部ホームページ (<a href="http://www.med.nagoya-u.ac.jp/">http://www.med.nagoya-u.ac.jp/</a>) →名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科→博士課程教育プログラム MD・PhD コースを参照してください。</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類はおもに面接の際の参考資料として使用します。</p> <p>① 英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL, IELTS, 英検等）</p> <p>② 国際バカロレアのスコア</p> <p>③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動状況</p> <p>④ グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動状況</p> <p>⑤ 科学研究に関する活動を積極的かつ継続的にを行い、その成果や活動を客観的に示すことができるもの（例えば生物学オリンピック出場歴等）</p>
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、和文と英文の課題を設定し、プレゼンテーションと口頭試問による面接を実施し、合格者を決定します。</p> <p><u>大学入試センター試験の利用教科・科目名</u></p> <p>国：国 地歴：世B, 日B, 地理B } から1 公民：倫・政経 } 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 理：物, 化, 生から2 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕 ※12頁【注】1. を参照してください。</p>
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接
合格者発表日	平成30年2月7日（水）
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p> <p>(3) 研究医（医師免許を持つ研究者）奨学金制度について 研究医を目指し、大学院（MD・PhD コースを含む）へ進学する者への経済的支援を図るため、国の政策に基づいた奨学金制度を設けております。</p>

実施学部	医学部保健学科
募集人員	看護学専攻 35名 放射線技術科学専攻 10名 検査技術科学専攻 15名 理学療法学専攻 7名 作業療法学専攻 7名 計 74名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、当学部・学科に対する明確な志向と勉学の意欲を持ち、学業成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 なお、各高等学校等から推薦できる人数は、専攻ごとに2名以内とします。
主な提出書類	A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 ----- B 任意で提出を求めるもの 次の①、②に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類は、主に面接の際の参考資料として使用します。 ①英語力を示す次の試験のスコア（TOEFL, IELTS, TOEIC, 英検, GTEC） ②グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動を示す書類
選抜方法等	選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。 第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第2次選考は、第1次選考合格者に対し、口頭試問による面接を実施し、面接及び提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により、合格者を決定します。  大学入試センター試験の利用教科・科目名 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1 理：物、化、生から2 外：英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕 ※12頁【注】1. を参照してください。
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接
合格者発表日	平成30年2月7日（水）
その他	(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。 なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。 (2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。 本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。

実施学部	工 学 部	
募集人員	化学生命工学科 9名 物理工学科 8名 マテリアル工学科 11名 電気電子情報工学科 11名	機械・航空宇宙工学科 15名 エネルギー理工学科 4名 環境土木・建築学科 8名  計 66名
出願資格・要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、学業成績が極めて優れていることはもとより、工学に対する強い勉強意欲と将来を見据えた明確な勉強目的を持ち、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数は、各学科2名以内とします。</p>	
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <hr/> <p>B 任意で提出を求めるもの</p> <p>次の①～⑥に該当するものがある場合は書類を提出してください。提出書類は第1次選考もしくは第2次選考の際の参考資料として使用することがあります。</p> <p>① 英語検定試験（TOEFL・IELTS・TOEIC・GTEC・英検等）の成績を証明する書類</p> <p>② 国際バカロレアのスコアを証明する書類</p> <p>③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）・グローバルサイエンスキャンパス（GSC）における活動状況を証明する書類</p> <p>④ 数学オリンピック・科学オリンピックへの参加状況を証明する書類</p> <p>⑤ 全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況を証明する書類</p> <p>⑥ その他、各種活動状況、表彰、資格を証明する書類</p>	
選抜方法等	<p>選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書及び調査書並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。</p> <p>第2次選考は、第1次選考合格者に対し、口頭試問による面接を実施し、合格者を決定します。</p> <p>※環境土木・建築学科で建築学プログラムを希望する場合は、口頭試問にスケッチも含まれます。</p> <p><u>大学入試センター試験の利用教科・科目名</u></p> <p>国：国</p> <p>地歴：世B、日B、地理B } から1</p> <p>公民：倫・政経</p> <p>数：数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1</p> <p>理：物と化</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>〔5教科7科目〕</p> <p>※12頁【注】1. を参照してください。</p>	
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）	
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接	
合格者発表日	平成30年2月7日（水）	
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>	

実施学部	農 学 部
募集人員	生物環境科学科 8名 資源生物科学科 12名 応用生命科学科 14名 計 34名
出願資格・要件	次の各号のいずれかに該当する者で、農学に対する強い勉学意識と将来を見据えた明確な勉学目的があり、学習成績・人物ともに優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。さらに「平成30年度大学入試センター試験」の教科・科目のうち本学部が指定した教科・科目（下記、選抜方法等参照）を受験している必要があります。 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者
主な提出書類	A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書 ----- B 任意で提出を求めるもの 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC等）を証明する書類 ② 国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）等における活動状況を証明する書類 ④ 数学オリンピック、科学オリンピック、全国規模・地方規模の科学分野コンテスト等への参加状況を証明する書類 ⑤ その他科学分野での活動状況を証明する書類
選抜方法等	選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。 第1次選考は、提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入試センター試験の成績により第1次選考合格者（面接受験者）を決定します。 第2次選考は、第1次選考合格者に対し、学科ごとに口頭試問による面接を実施し、合格者を決定します。  大学入試センター試験の利用教科・科目名 国：国 地歴：世B、日B、地理B } から1 公民：倫・政経 数：数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 理：物、化、生、地学から2 外：英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕 ※12頁【注】1.を参照してください。
出願期間	平成30年1月16日（火）から平成30年1月19日（金）
選抜期日	平成30年2月5日（月）面接
合格者発表日	平成30年2月7日（水）
その他	(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合に備えて、別途国公立大学一般入試に出願することができます。 なお、本学を受験する場合は、別途出願手続を行ってください。 (2) 募集要項の請求等 大学入試センター試験を課す推薦入試の募集要項は、11月下旬から配付します。 本学募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。

## 8. 大学入試センター試験を課さない推薦入試

実施学部	文 学 部
募集人員	15名
出願資格・要件	<p>当学部の「アドミッション・ポリシー」【注】に合致することに加え、次の①から③の出願要件のすべてを満たす者。①学業及び人物ともに傑出し、学校長等が責任をもって推薦できること、②調査書の学習成績概評がA段階であること、③合格した場合には必ず入学することを確約できること。</p> <p>なおかつ、次の(1)から(3)の出願資格のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成29年度中に高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>なお、各高等学校等から推薦できる人数は、2名以内とします。</p> <p>【注】名古屋大学文学部の「アドミッション・ポリシー」は次のとおりです。「人間への洞察力と言葉への関心をもち、心と行為を考える人文学に論理的思考力をもってアプローチする意欲のある人を求めます。」</p>
主な提出書類	<p>A 提出を求めるもの（必須） 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意で提出を求めるもの 次の①～⑥に該当するものがある場合は書類を提出してください。</p> <p>① 語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC・HSK・中検・DELTA/DALF・仏検・Goethe-Zertifikat・独検等）</p> <p>② 国際バカロレアのスコア</p> <p>③ スーパーグローバルハイスクール（SGH）・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における活動</p> <p>④ 全国規模・地方規模の人文学分野のコンテスト等への参加状況</p> <p>⑤ 科学オリンピック等の実績</p> <p>⑥ その他各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等</p>
選抜方法等	<p>上記出願資格・要件を満たす者に対し、大学入試センター試験を課さないで、書類審査及び小論文・面接による選抜を実施します。選抜は、第1次選考と第2次選考により行います。</p> <p>第1次選考は、書類審査（志願理由書、推薦書及び調査書）により行い、約30名を第1次合格者とします。</p> <p>第2次選考は、第1次合格者に対して小論文及び面接を課し、総合的に選考して合格者を決定します。なお、任意で提出された書類については第2次選考の参考にさせていただきます。</p>
出願期間	平成29年11月1日（水）から平成29年11月7日（火）
選抜期日	平成29年11月17日（金）小論文及び面接
合格者発表日	平成29年11月24日（金）
その他	<p>(1) 一般入試への出願 推薦入試で不合格となった場合は、あらためて国公立大学一般入試に出願することができます。なお、本学を受験する場合は、大学入試センター試験を受験の上、別途出願手続を行ってください。</p> <p>(2) 募集要項の請求等 文学部の推薦入試の募集要項は7月中旬から配付します。 募集要項の入手方法は、29～30頁を参照してください。</p>

## 9. 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生として本学への入学を志願する者に対して、大学入試センター試験を免除し、一般の入学試験とは別に入学試験を実施します。

### 1) 実施学部

全学部

### 2) 募集人員

全学部 若干名

### 3) 出願資格・要件

次の(1)の出願資格を有し、かつ、(2)の要件を満たす者

#### (1) 出願資格

次の①及び②に該当する者

- ① 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）
- ② 次のいずれかに該当する者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年（2018年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

オ グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を有する者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

カ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

キ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められた者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

（上記「オ・キ」により出願しようとする者は、平成29年（2017年）11月1日（水）までに、教育推進部入試課に申し出て、所定の申請手続きを行う必要があります。）

**【注】** 1. 上記出願資格の「外国において、学校教育における12年の課程」には、日本の教育課程による期間も含まれますが、高等学校又は高等学校に対応する学校の課程を卒業（修了）した者及び平成30年（2018年）3月31日までに卒業（修了）する見込みの者は、出願が認められません。なお、不明な点は教育推進部入試課まで照会してください。

**【注】** 2. 上記アの「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は次のものが含まれます。

- ・外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- ・外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるか

どうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了し、かつ、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの

- ・外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で文部科学大臣が別に指定するものを修了したもの
- ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限り。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの
- ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの

## (2) 要件

次の①及び②を満たす者

- ① 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の科目のうち本学が指定した下記の科目を本年度に受験し、次項の要件にある得点を取得した者

学部(学科)	受験科目	要件
・文学部 ・教育学部 ・法学部 ・経済学部	日本語、総合科目、 数学コース1	日本語(読解、聴解、聴読解):220点以上 総合科目・数学コース1:265点以上
・情報学部 (人間・社会情報学科)	日本語、総合科目、 数学コース1	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):250点以上 総合科目・数学コース1:265点以上
・情報学部 (自然情報学科) ・農学部	日本語、理科(物理、化学、 生物から2科目選択)、 数学コース2	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):250点以上 理科・数学コース2:265点以上
・情報学部 (コンピュータ科学科)	日本語、理科(物理1科目 及び「化学、生物」から 1科目選択の合計2科目)、 数学コース2	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):250点以上 理科・数学コース2:265点以上
・理学部	日本語、理科(物理、化学、 生物から2科目選択)、 数学コース2	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):320点以上 理科・数学コース2:300点以上
・医学部 (医学科)	日本語、理科(物理、化学、 生物から2科目選択)、 数学コース2	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):360点以上 理科・数学コース2:320点以上
・医学部 (保健学科)	日本語、理科(物理、化学、 生物から2科目選択)、 数学コース2	日本語(記述、読解、聴解、聴読解):300点以上 理科・数学コース2:265点以上
・工学部	日本語、理科(物理、化学)、 数学コース2	日本語(読解、聴解、聴読解):220点以上 理科・数学コース2:265点以上

【注】受験科目の出題言語は、日本語を選択し受験してください。

\* 「日本留学試験」についての照会は、下記に問い合わせてください。

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課  
〒153-8503 東京都目黒区駒場4丁目5番29号  
TEL (03) 6407-7457 FAX (03) 6407-7462  
E-mail eju@jasso.go.jp

② TOEFL を出願前2年以内に受験し、下記の学部（学科）が指定したいいずれかの得点を取得した者

学部（学科）	要件	
・文学部 ・教育学部 ・法学部 ・情報学部 ・医学部（保健学科） ・工学部 ・農学部	TOEFL-PBT TOEFL-iBT	500点以上 61点以上
・経済学部 ・理学部	TOEFL-PBT TOEFL-iBT	527点以上 71点以上
・医学部（医学科）	TOEFL-PBT TOEFL-iBT	574点以上 90点以上

TOEFL を受験する場合は、「Official Score Report」をETSから本学へ送付する手続きを必ず行ってください。なお、「Official Score Report」が出願期間最終日までに届かない場合は、書類不備のため出願を受け付けません。

本学のTOEFLにおけるDIコード（Designated Institution Code）は「0312」です。

また、TOEFL-ITPのスコアは利用できません。

\* 出願期間直前の10月・11月は、ETSに「Official Score Report」の発行手続きをしても、本学に届くまで2ヶ月以上の時間がかかる場合があるため、遅くとも出願の2ヶ月前までに、受験のうえ発行手続きを行ってください。

#### 4) 選抜方法等

日本留学試験、TOEFL及び本学が実施する入学試験（学部・学科ごとに異なる。）並びに出願書類により総合的に選考して合格者を決定します。

#### 5) 出願期間

平成29年12月22日（金）から平成29年12月28日（木）

#### 6) 試験期日

平成30年1月30日（火）

#### 7) 合格者発表日

平成30年2月16日（金）

#### 8) その他

詳細は、9月中旬発表予定の「平成30年度名古屋大学私費外国人留学生募集要項」を参照してください。募集要項を請求する場合は以下のいずれかの方法で行ってください。

- ① テレメールを利用して請求する場合  
29～30頁の請求方法を参照してください。
- ② 国外から郵送で請求する場合

送付先を明記した封筒（角形2号、約33×24cm）と航空書状250グラム相当料金（日本から郵送可能な料金）の国際返信切手券（INTERNATIONAL REPLY COUPON）を同封して「**私費外国人留学生募集要項請求**」と朱書し、名古屋大学教育推進部入試課（〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D4-4（100））あて申し込んでください。

## 10. 国際プログラム群学部学生入試（10月入学）

名古屋大学国際プログラム群（英語による教育で学位が取得できる教育プログラム）の学部学生（外国人留学生及び帰国子女等）の入試を実施します。

### 1) プログラム（実施学部）

自動車工学プログラム（工学部）、物理系プログラム（理学部、工学部）、  
化学系プログラム（理学部、工学部）、生物系プログラム（理学部、農学部）、  
国際社会科学プログラム（法学部、経済学部）、「アジアの中の日本文化」プログラム（文学部）

### 2) 募集人員

全プログラム 若干名

### 3) 出願資格等

出願資格・要件、選抜基準、出願期間及び合格発表日については、平成30年度募集要項で9月上旬に公表します。

本学国際プログラム群のホームページ（<http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/>）で確認してください。

## V 募集要項、大学案内及び学部紹介冊子の請求

### 1. 募集要項の配付時期

- 7月中旬から配付
  - ・センター試験を課さない推薦入試学生募集要項（文学部）
- 9月中旬から配付
  - ・私費外国人留学生募集要項
- 11月下旬から配付
  - ・一般入試、推薦入試学生募集要項
 

前期日程：全学部  
 後期日程：医学部医学科  
 センター試験を課す推薦入試（教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部）
- 9月上旬からダウンロード
  - ・国際プログラム群学部学生募集要項  
 本学国際プログラム群のホームページ (<http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/>) からダウンロードしてください。

### 2. 募集要項、大学案内及び学部紹介冊子の請求方法

- (1) 本学のホームページから請求する場合
 

本学のホームページから  テレメールを利用して募集要項、大学案内及び学部紹介冊子の資料が請求できます。（名古屋大学ホームページ (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) トップページの「入学案内」→「学部募集要項／大学案内など」→「一般入試等の学生募集要項・大学案内等の入手方法」)
- (2) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求する場合
  - ① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> パソコン・スマートフォン・携帯電話 各社共通アドレス	スマートフォン・携帯電話 用コードを読み取り、ア クセスした場合は資料請 求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話の 場合	IP 電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※ IP 電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

② 次に請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始予定日
募集要項（前期・後期）	6 2 3 7 8 2	11月下旬
募集要項（センター課す推薦）	6 2 3 8 0 2	11月下旬
募集要項（前期・後期）+募集要項（センター課す推薦）	5 8 4 2 5 2	11月下旬
大学案内	5 6 4 2 5 2	8月上旬
募集要項（前期・後期）+大学案内	6 2 3 7 9 2	11月下旬
募集要項（センター課す推薦）+大学案内	6 2 3 8 1 2	11月下旬
募集要項（前期・後期）+募集要項（センター課す推薦）+大学案内	5 4 4 2 5 2	11月下旬
文学部推薦入試募集要項（センター課さない推薦）	5 6 4 5 8 2	7月中旬
私費外国人留学生募集要項	5 8 4 5 9 2	9月中旬
文学部案内	5 6 4 2 6 2	7月中旬
教育学部案内	5 6 4 2 7 2	7月上旬
法学部案内	5 6 4 2 8 2	8月中旬
経済学部案内	5 8 4 2 7 2	8月中旬
情報学部案内	5 8 4 2 8 2	7月上旬
理学部案内	5 4 4 2 6 2	7月下旬
医学部医学科案内	5 4 4 2 7 2	7月上旬
医学部保健学科案内	5 4 4 2 8 2	7月中旬
工学部案内	5 6 4 2 4 2	9月上旬
農学部案内	5 8 4 2 4 2	7月上旬

③ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

**(1)(2)に関する注意事項**

- ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉発送されます。
- ・ 請求から1～2日後に資料が届きます。  
ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。  
1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ・ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。  
なお、支払手数料が別途必要になります。「ケータイ払い（携帯電話料金と一緒にのお支払い）」は50円、「コンビニ支払い」は86円、「ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱い」は80円、「ゆうちょ銀行・郵便局の窓口扱い」は130円、「クレジットカード払い」は50円の支払手数料が、料金とは別に必要となります。  
また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- ・ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- ・ 自動音声応答電話による請求の場合、住所・氏名等の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。

(3) 請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

## Ⅵ 名古屋大学の概要

### 1. 沿革

#### ●前身校期

1871 (明治4) 年	仮病院 仮医学校開設
1872 (明治5) 年	義病院設置
1873 (明治6) 年	仮病院 医学講習場設置
1875 (明治8) 年	愛知県病院設置
1876 (明治9) 年	公立医学講習場 公立医学所設置
1878 (明治11) 年	公立医学校設置
1881 (明治14) 年	愛知医学校設置
1901 (明治34) 年	愛知県立医学校設置
1903 (明治36) 年	愛知県立医学専門学校設置
1908 (明治41) 年	第八高等学校設置
1920 (大正9) 年	愛知医科大学設置 名古屋高等商業学校設置
1931 (昭和6) 年	(官立移管) 名古屋医科大学設置

#### ●帝国大学(旧制大学)期

1939 (昭和14) 年	名古屋帝国大学創設(医学部と理工学部の2学部) 名古屋帝国大学臨時附属医学専門部設置
1942 (昭和17) 年	名古屋帝国大学理工学部を理学部と工学部に分離
1943 (昭和18) 年	名古屋帝国大学航空医学研究所設置(1946年廃止)
1944 (昭和19) 年	名古屋工業経営専門学校設置(1946年廃止) 名古屋経済専門学校設置 名古屋帝国大学附属医学専門部設置
1945 (昭和20) 年	岡崎高等師範学校設置
1946 (昭和21) 年	名古屋帝国大学環境医学研究所設置
1947 (昭和22) 年	名古屋大学(旧制)と改称
1948 (昭和23) 年	名古屋大学文学部、法経学部を設置

#### ●新制大学期

1949 (昭和24) 年	旧制名大、医専部、八高、名経専、岡崎高師を包括 文、教育、法経、理、医、工の6学部及び環境医学研究所で新制名古屋大学として発足 空電研究所、附属図書館、分校(教養部)を設置
1950 (昭和25) 年	法経学部を法学部と経済学部に分離
1951 (昭和26) 年	農学部設置
1953 (昭和28) 年	文学、教育学、法学、経済学、理学、工学の6研究科を設置(文学研究科2017年廃止)
1955 (昭和30) 年	医学、農学の2研究科を設置
1961 (昭和36) 年	プラズマ研究所設置(1989年廃止、核融合科学研究所へ発展)
1963 (昭和38) 年	教養部設置(1993年廃止)
1971 (昭和46) 年	大型計算機センター設置(2002年廃止)
1973 (昭和48) 年	水圏科学研究所設置
1977 (昭和52) 年	名古屋大学医療技術短期大学部併設(2001年廃止)
1990 (平成2) 年	空電研究所を太陽地球環境研究所に改組
1991 (平成3) 年	大学院国際開発研究科設置
1992 (平成4) 年	大学院人間情報学研究科設置(2003年廃止)
1993 (平成5) 年	情報文化学部設置(2017年廃止) 水圏科学研究所を大気水圏科学研究所に改組(2001年廃止)
1995 (平成7) 年	大学院多元数理科学研究科設置
1997 (平成9) 年	大学院農学研究科を大学院生命農学研究科に改称
1998 (平成10) 年	大学院国際言語文化研究科設置(2017年廃止)
2000 (平成12) 年	大学院教育学研究科を大学院教育発達科学研究科に改称
2001 (平成13) 年	大学院環境学研究科設置 地球水循環研究センター設置(2015年廃止)
2002 (平成14) 年	情報連携基盤センター設置(2009年廃止) 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
2003 (平成15) 年	大学院情報科学研究科設置(2017年廃止)

#### ●国立大学法人期

2004 (平成16) 年	国立大学法人名古屋大学設立 大学院法学研究科実務法曹養成専攻(法科大学院)設置
2006 (平成18) 年	エコトピア科学研究所設置
2009 (平成21) 年	情報基盤センター設置
2012 (平成24) 年	大学院創薬科学研究科設置
2015 (平成27) 年	太陽地球環境研究所等を宇宙地球環境研究所に改組 エコトピア科学研究所を未来材料・システム研究所に改組
2017 (平成29) 年	大学院人文学研究科設置 大学院情報学研究科設置 情報学部設置

## 2. 教育課程

本学における教育課程の体系は次表のとおりです。各学部では、この教育課程に基づき、4年一貫（医学部医学科は6年一貫）教育課程を編成し、それぞれ卒業までに修めなければならない科目及びその単位数を定めています。

また、文学部では2年次、理学部では1年次、医学部医学科では2年次、3年次及び4年次、工学部では1年次及び2年次、農学部では2年次及び3年次終了時に、それぞれの学部で定める単位数を修得していないと、次学年に進級できません。

科目区分		内容
専門系科目	専門科目	各学部の学科、専攻の専門系科目のうち最も中核的な科目（卒業論文又は卒業研究を含む。）
	関連専門科目	専門科目の周辺に位置する科目で、専門科目の教育効果をより高めるための科目
	専門基礎科目	専門科目、関連専門科目などを理解するのに必要な、専門に直結した基礎教育科目
基礎科目	全学基礎科目	初年次生を大学教育へ導入し、自立した学習能力を身につけるとともに、文・理に共通した基礎的学力や技能を養う科目
	基礎セミナー	多面的な知的トレーニングによって、コモンベシックとしての読み、書き、話す能力のかん養を図るとともに、真理探究の方法と面白さを学ぶ科目
	言語文化	専門的学習のツールとしての外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育む科目
	健康・スポーツ科学	健康に関する自己管理能力、生涯スポーツの基礎となる技能の習得、スポーツを通じたコミュニケーション能力やリーダーシップを育む科目
	文系基礎科目	人文・社会科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目
	理系基礎科目	自然科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目
教養科目	文系教養科目	人文・社会科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目
	理系教養科目	自然科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目
	全学教養科目	専門分野を問わず、豊かな人間性を育み、総合的判断能力をかん養する科目
	開放科目	学生の自主的で多様な学習意欲に応えるため、学部等が開講する専門系授業科目のうち、他学部の学生の受講が可能であり、かつ、有意義であると認めて全学に開放する科目

### 3. 学部・学科等

学部・学科名及び1学年当たりの定員は次のとおりです。

なお、経済学部及び理学部の入学者選抜は、学科別ではなく学部全体として行います。各学科や各専攻等へは、下記に示す時期に志望により配属されます。ただし、志望者が当該学科や専攻等の定員を超える場合は、選考を行うことがあります。

学科・専攻等への配属時期について

文学部（分野・専門への配属）	2年次の前期	情報学部（系への配属）	3年次の前期
教育学部（コースへの配属）	2年次の後期	理学部（学科への配属）	2年次の前期
経済学部（学科への配属）	2年次の前期	工学部環境土木・建築学科 （プログラムへの配属）	2年次の前期

#### ◎ 文学部

人文学科 125名

文芸言語学コース(言語学、日本語学、日本文学、英語学、英米文学、フランス語フランス文学、ドイツ語ドイツ文学、中国語中国文学)、哲学倫理学コース(哲学、西洋古典学、中国哲学、インド哲学)、歴史学・人類学コース(日本史学、東洋史学、西洋史学、美学美術史学、考古学、文化人類学)、環境行動学コース(社会学、心理学、地理学)

#### ◎ 教育学部

人間発達科学科 65名

生涯教育開発コース  
学校教育情報コース  
国際社会文化コース  
心理社会行動コース  
発達教育臨床コース

#### ◎ 法学部

法律・政治学科 150名

#### ◎ 経済学部

経済学科 140名

経営学科 65名

#### ◎ 情報学部

自然情報学科 38名

数理情報系、複雑システム系

人間・社会情報学科 38名

社会情報系、心理・認知科学系

コンピュータ科学科 59名

情報システム系、知能システム系

◎ 理 学 部

数 理 学 科	55名	生 命 理 学 科	50名
物 理 学 科	90名	地 球 惑 星 学 科	25名
化 学 科	50名		

◎ 医 学 部

医 学 科	104名※		
保 健 学 科			
看 護 学 専 攻	80名	理 学 療 法 学 専 攻	20名
放 射 線 技 術 学 科 専 攻	40名	作 業 療 法 学 専 攻	20名
検 査 技 術 学 科 専 攻	40名		

◎ 工 学 部

化 学 生 命 工 学 科	99名	エ ネ ル ギ ー 工 学 科	40名
物 理 工 学 科	83名	環 境 土 木 ・ 建 築 学 科	80名
マ テ リ ア ル 工 学 科	110名	環 境 土 木 工 学 プ ロ グ ラ ム	} JABEE 認 定 の 技 術 者 教 育 プ ロ グ ラ ム
電 気 電 子 情 報 工 学 科	118名	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	
機 械 ・ 航 空 宇 宙 工 学 科	150名		

◎ 農 学 部

生 物 環 境 学 科	35名
資 源 生 物 学 科	55名
応 用 生 命 学 科	80名

※医学部医学科については、「緊急医師確保対策」に基づく暫定的な医学部定員増への延長申請を予定しており、変更があり得ます。

#### 4. 大学院

学部を卒業した後、更に専門分野について深く研究しようとする者は、選考を経て大学院に入学することができます。本学の大学院には、人文学・教育発達科学・法学・経済学・情報学・理学・医学系・工学・生命農学・国際開発・多元数理科学・環境学・創薬科学の各研究科が設けられています。

研究科		専攻
人文学研究科（1専攻）		人文学
教育発達科学研究科（2専攻）		教育科学、心理発達科学
法学研究科（2専攻）		総合法政、実務法曹養成（法科大学院）
経済学研究科（2専攻）		社会経済システム、産業経営システム
情報学研究科（6専攻）		数理情報学、複雑系科学、社会情報学、心理・認知科学、情報システム学、知能システム学
理学研究科（4専攻）		素粒子宇宙物理学、物質理学、生命理学、名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学
医学系研究科	修士課程（1専攻）	医科学
	前期課程（3専攻）	看護学、医療技術学、リハビリテーション療法学
	医学博士課程（3専攻）	総合医学、名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学、名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学
	後期課程（3専攻）	看護学、医療技術学、リハビリテーション療法学
工学研究科（17専攻）		有機・高分子化学、応用物質化学、生命分子工学、応用物理学、物質科学、材料デザイン工学、物質プロセス工学、化学システム工学、電気工学、電子工学、情報・通信工学、機械システム工学、マイクロ・ナノ機械理工学、航空宇宙工学、エネルギー理工学、総合エネルギー工学、土木工学
生命農学研究科（4専攻） （改組予定※）		森林・環境資源科学、植物生産科学、動物科学、応用生命科学
■国際開発研究科（1専攻） （改組予定※）		◆国際開発協力
■多元数理科学研究科（1専攻）		◆多元数理科学
■環境学研究科（3専攻）		◆地球環境科学、◆都市環境学、◆社会環境学
■創薬科学研究科（1専攻）		◆基盤創薬学

【注】 ■…独立研究科 ◆…独立専攻

※生命農学研究科及び国際開発研究科は平成30年4月に改組する予定です。なお、この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果により確定するものであり、今後、変更があり得ます。

## Ⅶ 平成31年度以降の入学者選抜方法について

平成30年11月以降実施の入学者選抜方法については、変更等の決定があり次第、随時以下のホームページに概要を公表します。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/admission/applicant/report/>

(「名古屋大学ホームページ」からは「入学案内」→「学部入試の概要」→「学部入試に関するお知らせ」にてご覧になれます。)

上記期日以降に受験を希望される方は、必ずご確認ください。

なお、国際プログラム群学部学生入試(10月入学)における入学者選抜方法の変更等は、以下のホームページでご確認ください。

<http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/>

# 照会先一覧

## 1. 一般入試等

入 試 種 別		照 会 先
一般入試（前期日程、後期日程）		〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D4-4（100） 名古屋大学 教育推進部入試課 TEL 052-789-5765
センター試験を課す推薦入試（教育、法、経済、情報、理、医、工、農学部）		
私費外国人留学生入試		
センター試験を課さない推薦入試	文 学 部	〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4（700） 名古屋大学 文学部 入試担当 TEL 052-789-2206・2207

【注】 1. 入学試験に関する照会は、上記において取り扱います。

（月曜日から金曜日 9時から17時〔祝日を除く。〕）

【注】 2. 文書での照会については、照会者本人の受信場所、郵便番号、氏名、出願予定の入試種別、志望学部を記載し、82円切手を貼った返信用封筒を同封の上、上記にお問い合わせください。

名古屋大学ホームページ
<a href="http://www.nagoya-u.ac.jp/">http://www.nagoya-u.ac.jp/</a>

携帯電話用ウェブサイト
<a href="http://daigakujc.jp/nagoya-u/">http://daigakujc.jp/nagoya-u/</a>
携帯電話用コードで アクセスできます。▶


## 2. 国際プログラム群学部学生入試

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 国際教育交流本部 国際アドミッションオフィス

E-mail : [apply@g30.nagoya-u.ac.jp](mailto:apply@g30.nagoya-u.ac.jp) TEL : 81-52-747-6556

本試験に関する照会は、照会者本人のメールアドレス・氏名等を明記し、国際アドミッションオフィスにお問い合わせください。



名古屋大学